

令和8年度 鳥取県産業技術センターインターンシップ受入研究所一覧

別紙

1 受入学科・人数・期間・業務内容

受入科		受け入れる学科・専攻		人数	受入期間	日数	実習内容
1	電子・有機素材研究所 電子システムグループ	学部	電気・電子系	1	8月3日～10月30日	3	○電子機器の設計・制御および評価技術 ・マイコンとセンサーで構成されるIoTツールを製作し、動作検証を行うことで回路設計、制御技術を体験する。 ・工業製品の品質管理の一環として、画像認識により外観検査を行う方法を体験する。 ・電子機器の品質保証のための信頼性評価、不良解析を体験する。
		大学院	電気・電子系	1	8月3日～10月30日	3	
2	電子・有機素材研究所 有機材料グループ	学部	化学系	1	8月3日～10月30日	3	○材料評価および不良解析技術 ・身の回りのプラスチック等の機能性材料の成形方法と、その特性や物性の評価方法について体験する。 ・県内企業で製造している工業製品に混入した異物や付着物などの製造・品質課題に対し、原因を特定するための分析手法を体験する。
		大学院	化学系	1	8月3日～10月30日	3	
3	機械素材研究所 システム制御グループ 機械・設計支援グループ 無機材料グループ	学部	不問	3	8月3日～10月30日	3～4	○機械加工・ロボット・CAD・シミュレーション、無機材料の化学分析、金属材料の機械的特性評価技術 ・センターの役割や設立目的の説明(全体) ・個別機器操作実習と事例説明(各グループ) ・協働ロボット・プログラミングを体験する。 (システム制御G) ・機械加工・CAD・シミュレーション、3Dプリンタを体験する。 (機械・設計支援G) ・無機材料の化学分析、金属材料の機械的特性評価を体験する。 (無機材料G) 実習実施各日において大学提出用報告書の部分作成する。 最終日は各日作成報告書を参考に意見交換・振り返りを行う。
		大学院	不問	3	8月3日～10月30日	3～4	
4	食品開発研究所 食品加工グループ	学部	食品科学系 農芸化学系 化学バイオ系	1	8月3日～10月30日	5	○食品工学手法を用いた加工食品の開発及び評価 ・野菜や果物を粉末化したうえで、溶けやすくする加工技術を体験する。 ・加工による食品の味や香りの変化を評価することで、公設試における食品開発業務を体験する。
		大学院	食品科学系 農芸化学系 化学バイオ系	1	8月3日～10月30日	5	
5	食品開発研究所 発酵・機能性食品グループ	学部	食品科学系 農芸化学系 化学バイオ系	1	8月3日～10月30日	5	○伝統ある日本酒産業を支える研究 ・日本酒蔵元が抱える製造・品質課題に対し、科学的なアプローチから解決策を提案・実行する公設試の業務を体験する。 ・製造から最新分析まで一貫した日本酒開発を通じて、地域を支える研究職のやりがいを学ぶ。
		大学院	食品科学系 農芸化学系 化学バイオ系	1	8月3日～10月30日	5	
6	食品開発研究所 発酵・機能性食品グループ	学部	食品科学系 農芸化学系 化学バイオ系	1	8月3日～10月30日	5	○SDGsに資する食品素材の開発とその活用方法 ・食品事業所から排出される可食の副原料を、健康志向性の高い素材への改変や、それらを「美味しく」喫食するための開発を行い、企業の課題を解決、発展させる公設試の業務を体験する。 ・未利用の海洋資源を、バイオ素材として付加価値の高い開発を体験し、鳥取県の新産業創出の意義やチャレンジの現場を学ぶ。
		大学院	食品科学系 農芸化学系 化学バイオ系	1	8月3日～10月30日	5	
7	食品開発研究所 食品安全・品質技術グループ	学部	食品科学系 農芸化学系 化学バイオ系	1	8月3日～10月30日	5	○海藻類の品質評価手法 ・海藻類の粘質物の物性評価手法を体験する。 ・海藻類に含まれる多糖類や水溶性食物繊維の分析業務を通じて、食品の研究職の現場を体験する。
		大学院	食品科学系 農芸化学系 化学バイオ系	1	8月3日～10月30日	5	
合計				18			

※赤字はHPの申込みシートの選択業務内容

2 受入場所

研究所	担当	電話番号	住所
電子・有機素材研究所	電子システムグループ、有機材料グループ	0857-38-6200	〒689-1112 鳥取市若葉台南7丁目1-1
機械素材研究所	システム制御グループ、機械・設計支援グループ、無機材料グループ	0859-37-1811	〒689-3522 米子市日下1247
食品開発研究所	食品加工グループ、発酵・機能性食品グループ、食品安全・品質技術グループ	0859-44-6121	〒684-0041 境港市巾野町2032-3

※自家用車の乗り入れは可能

3 報酬等

報酬・賃金・宿泊施設・交通費・制服貸与については、いずれも支給しない。

4 連絡・問い合わせ先

所属等	氏名	電話番号	E-mail
全般(企画・連携推進部)	企画室係長 森	0857-38-6205	mori-h@tiit.or.jp
電子・有機素材研究所	所長補佐 谷岡	0857-38-6200	tani@tiit.or.jp
機械素材研究所	副所長 高橋(智)	0859-37-1811	tom@tiit.or.jp
食品開発研究所	所長補佐 加藤(愛)	0859-44-6121	kato-ai@tiit.or.jp